

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2021年3月期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 2021年3月期決算	・ ・ ・	3	2. 2022年3月期業績見通し	・ ・ ・	12
1) 2021年3月期の事業環境	・ ・ ・	4	1) 2022年3月期の事業環境	・ ・ ・	13
2) 2021年3月期の業績概要	・ ・ ・	5	2) 2022年3月期の業績見通し	・ ・ ・	14
3) 受注高	・ ・ ・	6	3) 受注高及び完成工事高		
4) 完成工事高	・ ・ ・	7	① 開示分類の変更	・ ・ ・	15
5) 完成工事総利益・営業利益	・ ・ ・	8	② 新分類での予想	・ ・ ・	16
6) 当期純利益	・ ・ ・	9	③ 新分類での実績推移	・ ・ ・	17
7) 受注残高	・ ・ ・	10	3. 配当	・ ・ ・	18
8) 貸借対照表	・ ・ ・	11	1) 2021年3月期配当予定	・ ・ ・	19
			および2022年3月期配当予想		

1. 2021年3月期決算

1) 2021年3月期の事業環境

- 国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい状況で推移
- 経済活動は停滞し、個人消費が低迷するとともに、景況感や企業収益において業種間格差が広がるなど、先行き不透明な状況が継続
- 石油業界では、精製能力の削減や稼働率の調整が行われ、加えて新型コロナウイルスの感染症の影響等により製品需要が減少
- 石油化学や一般化学業界では、一部で需要回復の兆しは見られるものの、全般的には新型コロナウイルス感染症の影響により、製品需要が低迷した状況が継続
- 受注高については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う設備投資の中止や延期の影響を受けた
- 完成工事高については、主要顧客である石油・石油化学業界において定期修理工事が多い年であったことから、堅調に推移
- 収益面においては、人手不足により外注加工費が高水準で推移する中、直接工事費や経費の削減、稼働の効率化等により個々の工事における採算確保と収益性の向上に努めた

2) 2021年3月期の業績概要

➤ 受注高、完成工事高および各利益は、概ね予想どおり

(参考) (単位：億円)

	予想(11/6)	2021.03	予想比	増減率	前期 (2020.03) との差異		
					前期比	増減率	
受 注 高	1,450	1,431	-19	-1.3%	1,654	-223	-13.5%
完 成 工 事 高	1,450	1,459	+9	+0.6%	1,405	+54	+3.8%
完 成 工 事 総 利 益	164.5	164.1	-0.4	-0.2%	168.4	-4.3	-2.6%
(率)	11.3%	11.3%	0.0%	—	12.0%	-0.7%	—
営 業 利 益	104.0	103.8	-0.2	-0.2%	100.4	+3.4	+3.4%
(率)	7.2%	7.1%	-0.1%	—	7.1%	0.0%	—
経 常 利 益	106.5	106.5	0.0	0.0%	102.3	+4.2	+4.1%
(率)	7.3%	7.3%	0.0%	—	7.3%	0.0%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	69.5	73.4	+3.9	+5.6%	71.5	+1.9	+2.7%
(率)	4.8%	5.0%	+0.2%	—	5.1%	-0.1%	—

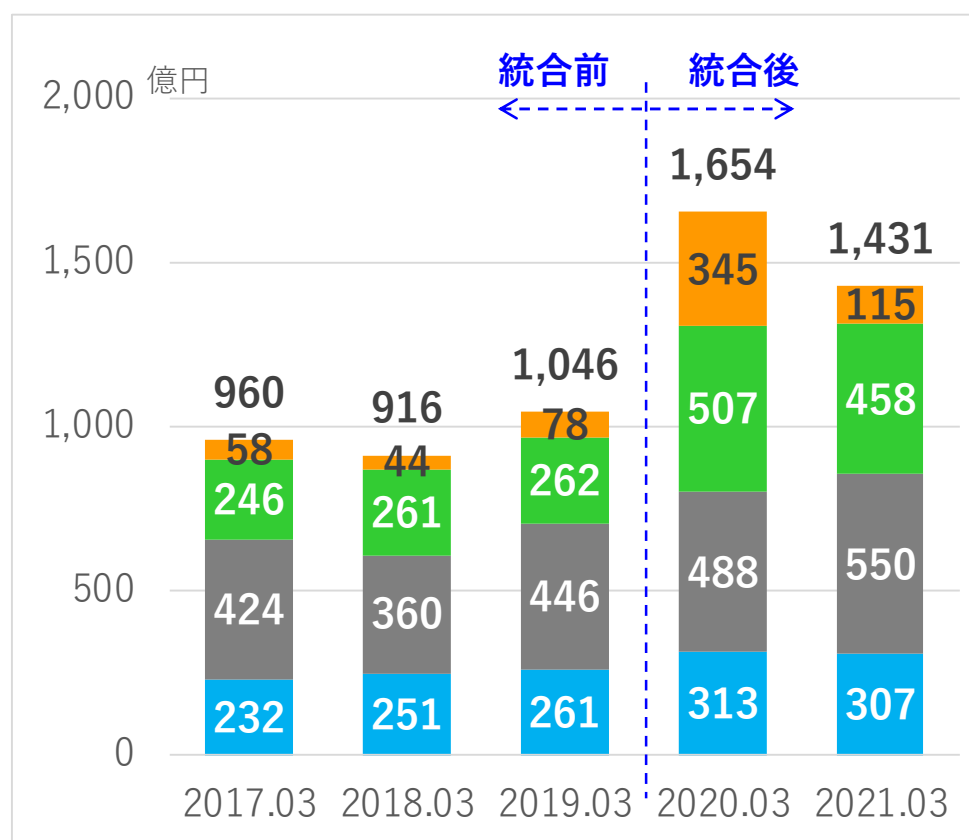
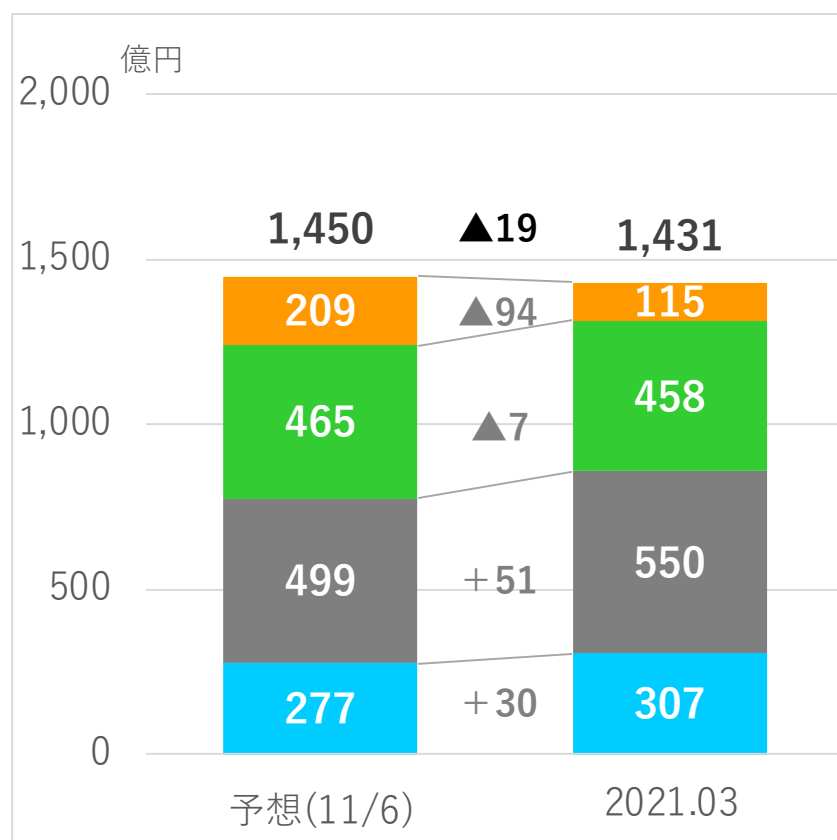
特記事項

- ① 前期決算は旧新興プランテックの12か月分と旧JXエンジニアリングの2019年7月から2020年3月の9か月分。
- ② 受注高の前期比での大幅な減少は、前期に旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたことによるもの。
- ③ 前期の当期純利益では負ののれん発生益（51.0億円）を除いています。

3) 受注高

- 日常保全工事、定期修理工事は、工事量の増加により予想から増加
- 新規設備工事は、新型コロナウイルスの影響による工事の中止や期ずれなどにより予想から減少

■ 日常保全工事 ■ 定期修理工事 ■ 改造・改修工事 ■ 新規設備工事



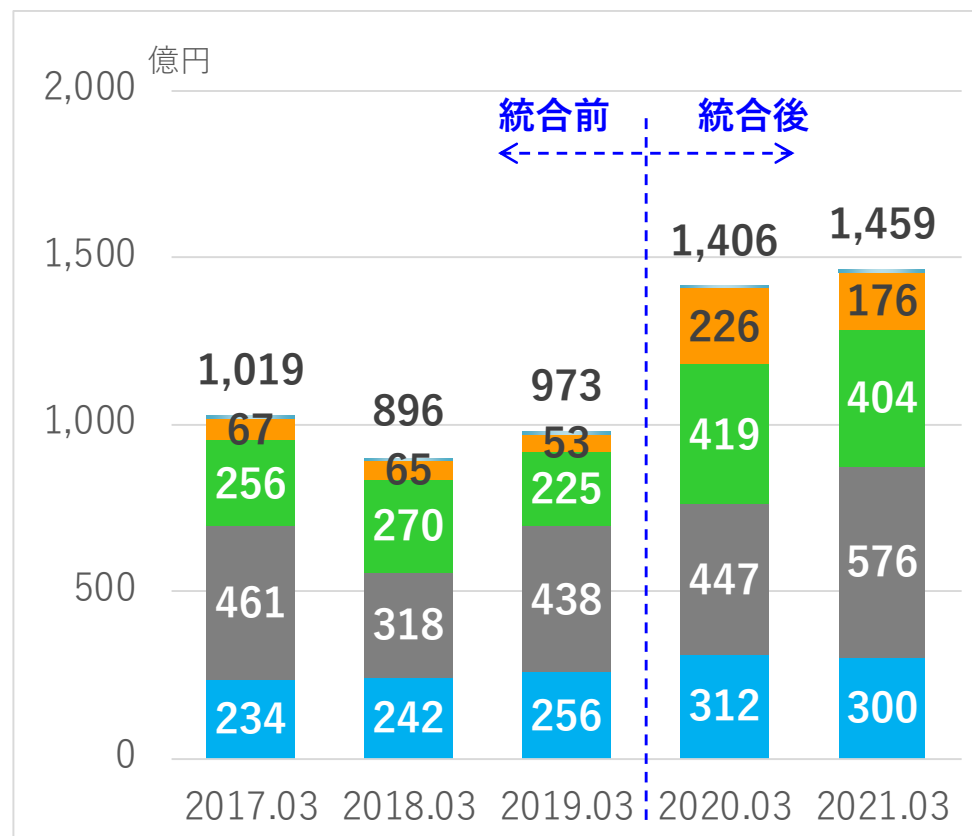
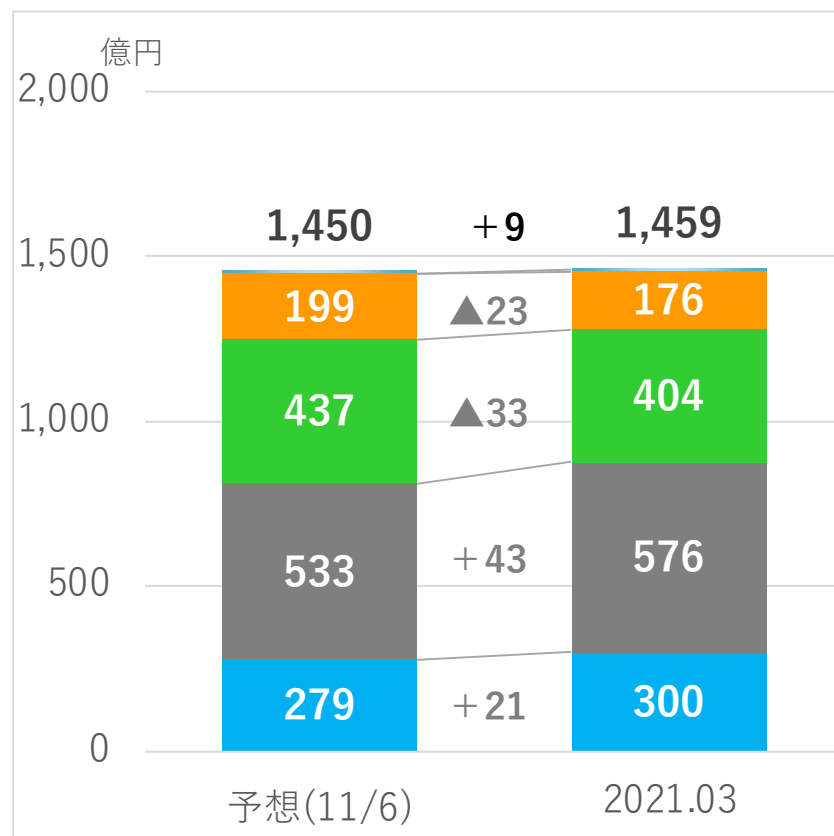
特記事項

① 2020年3月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

4) 完成工事高

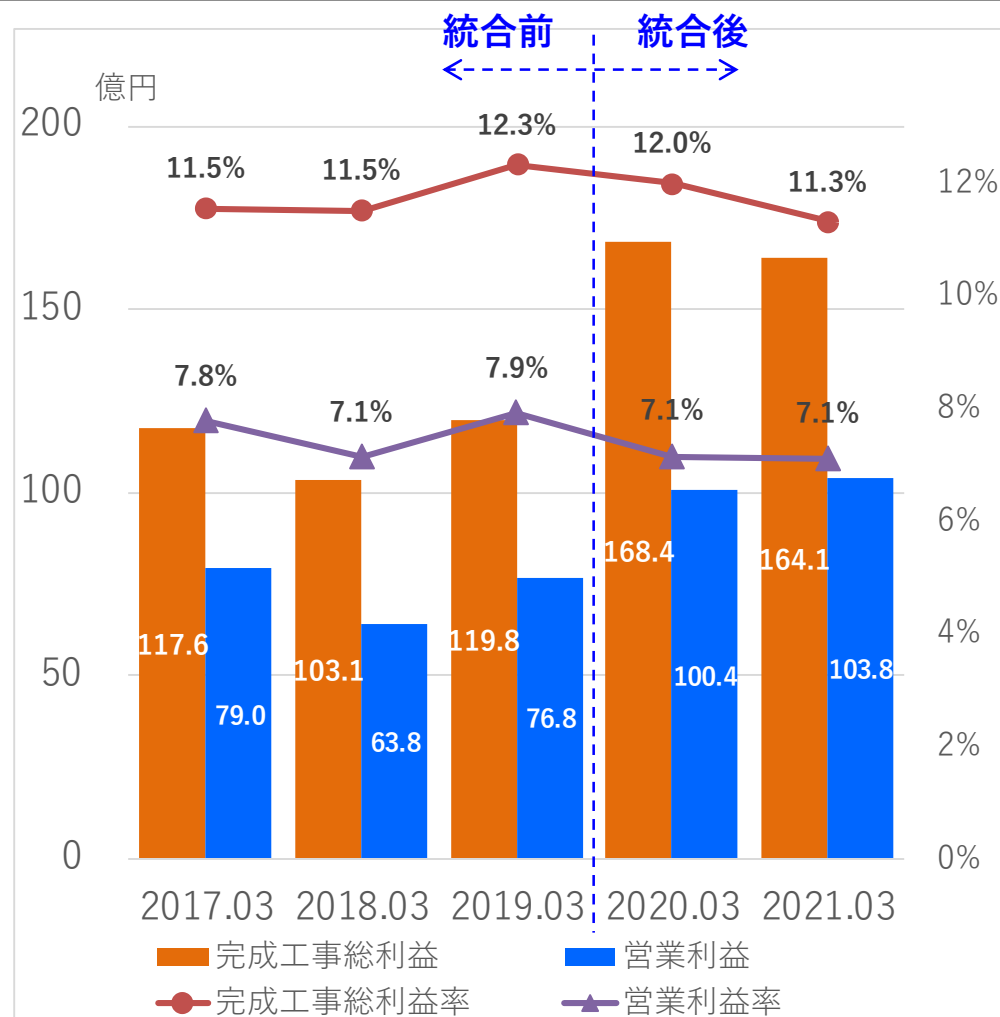
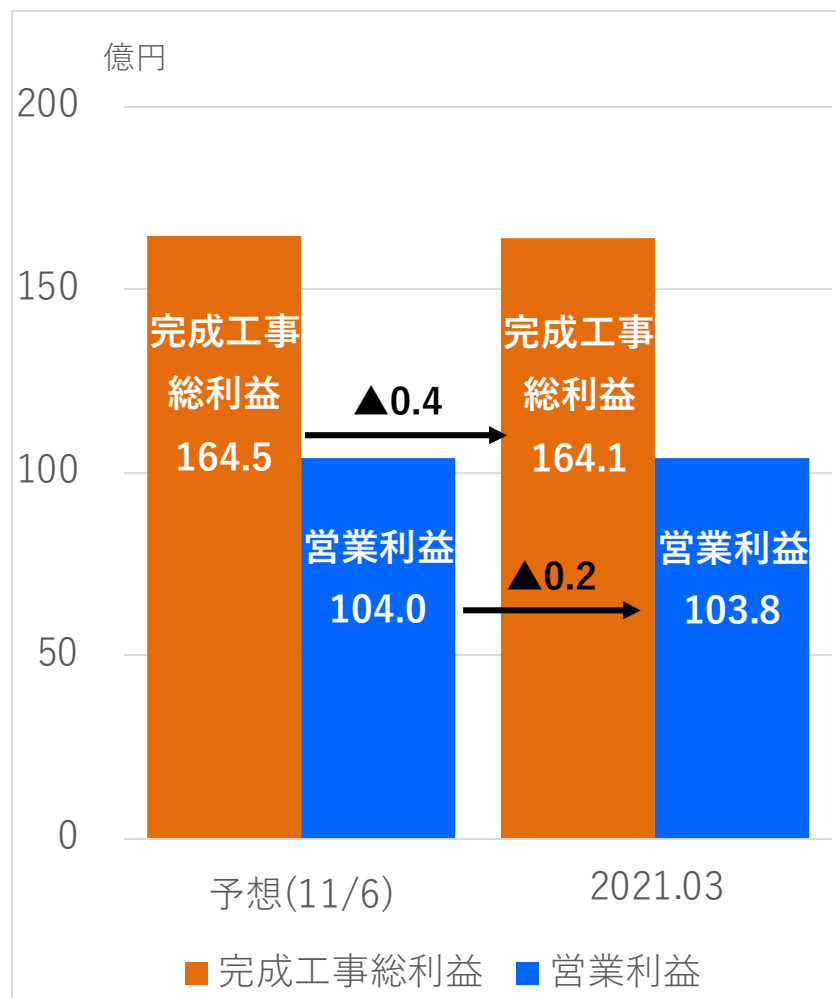
- 日常保全工事、定期修理工事は、工事量の増加により予想から増加
- 改造・改修工事は、工期の延長などによる次期への期ずれなどにより予想から減少
- 新規設備工事は、大型工事の進捗が想定より遅れ、次期へ期ずれしたため予想から減少

■ 日常保全工事 ■ 定期修理工事 ■ 改造・改修工事 ■ 新規設備工事



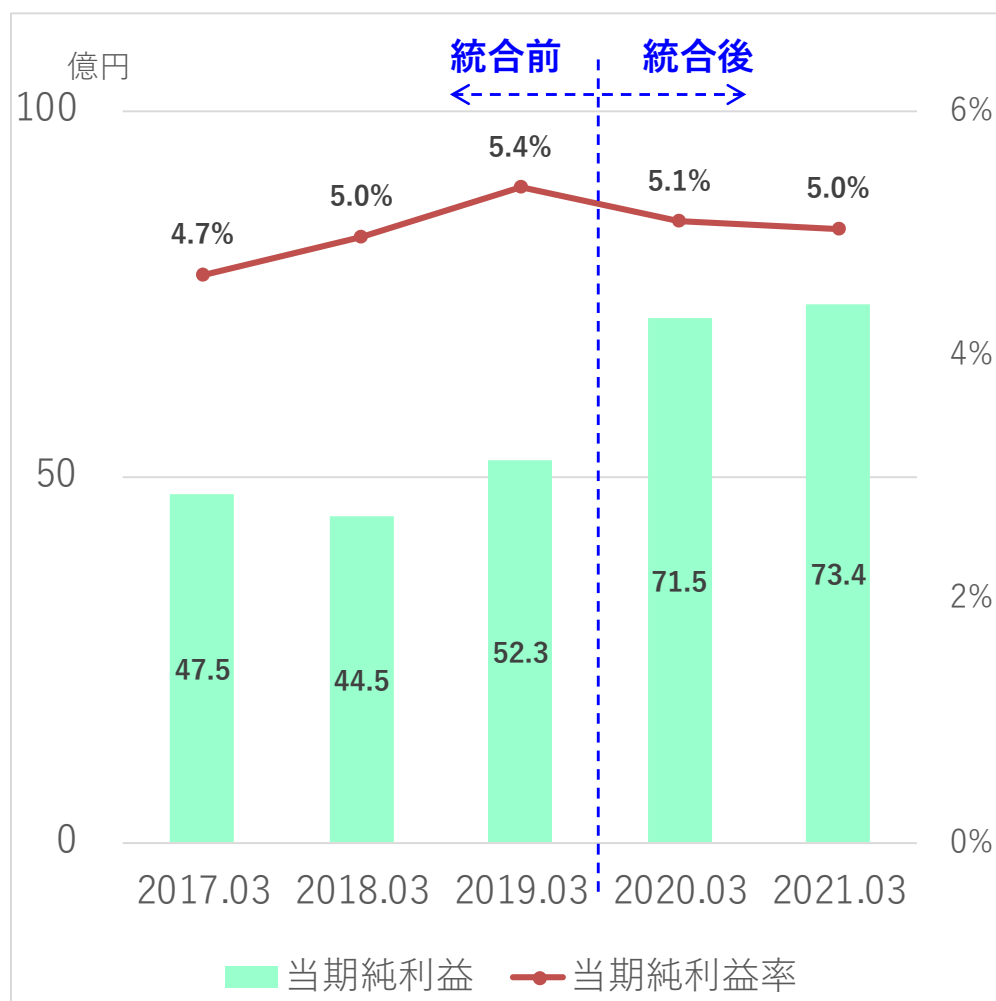
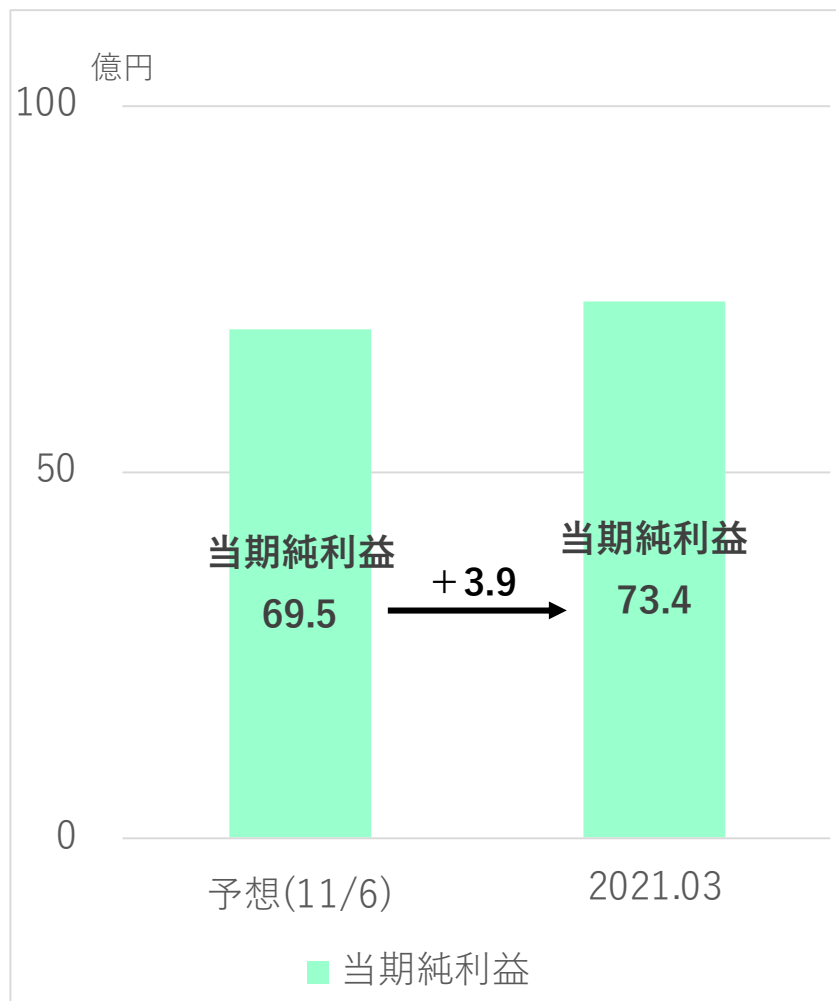
5) 完成工事総利益・営業利益

- 完成工事高が想定どおりとなり、原価低減や稼働の効率化に努めた結果、完成工事総利益および営業利益はおおむね予想どおり



6) 当期純利益

➤ 法人税等の減少などにより、当期純利益は予想を上回る

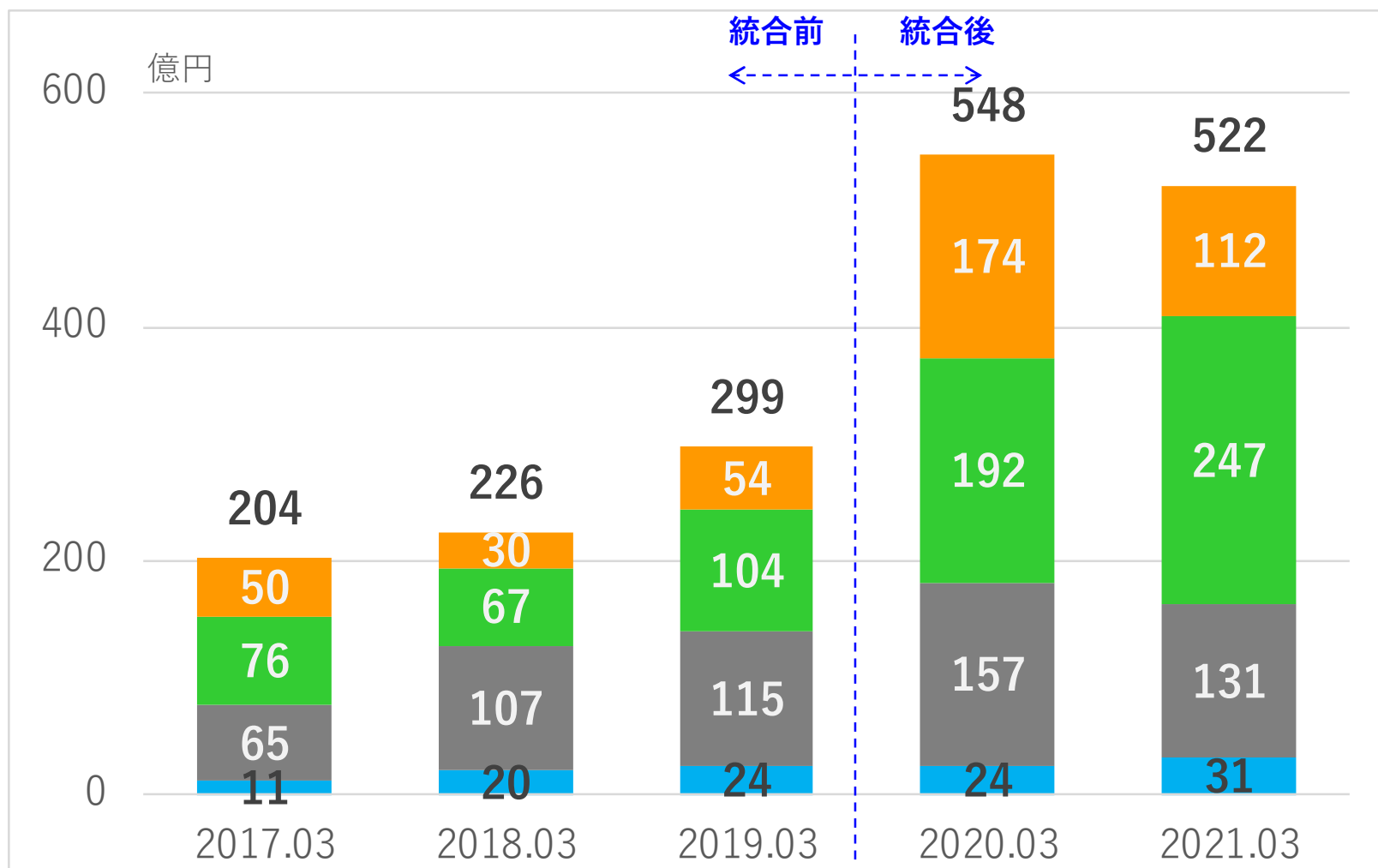


注) 上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(51億円)を除いた当期純利益となっております。

7) 受注残高

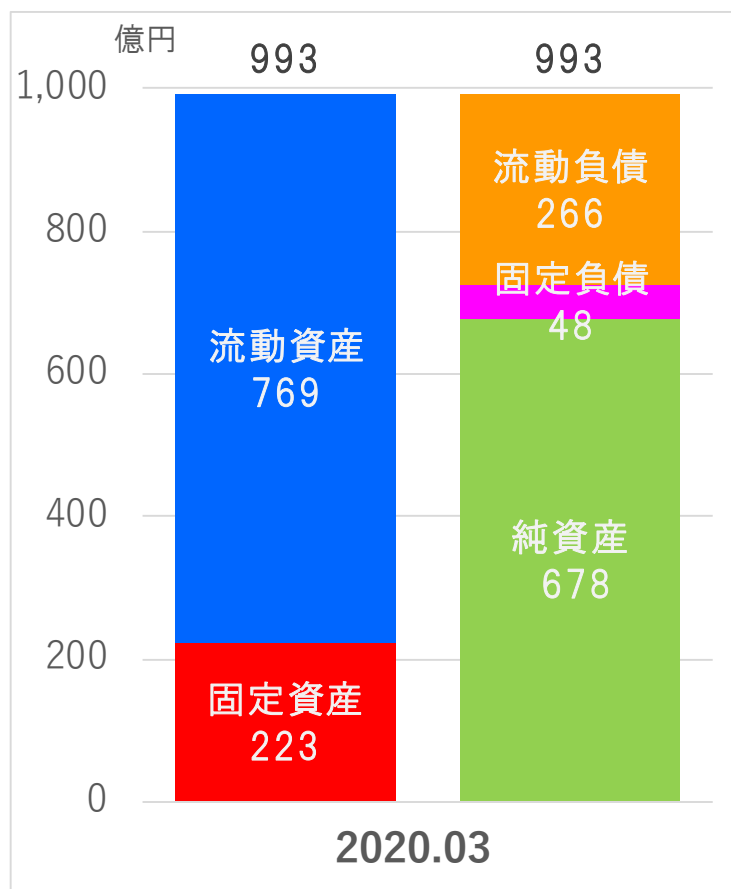
➤ 新規設備工事の受注高の減少により、前期末より減少

■ 日常保全工事 ■ 定期修理工事 ■ 改造・改修工事 ■ 新規設備工事

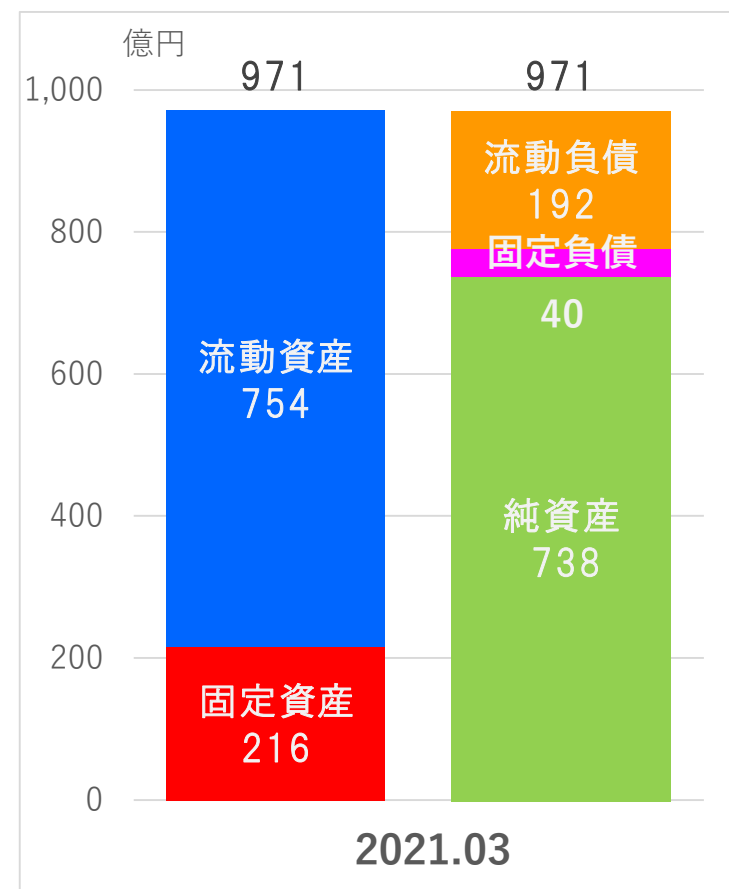


8) 貸借対照表

- 資産の部・・・流動資産および固定資産に大きな変動なし
- 負債の部・・・流動負債で短期借入金、未払法人税等の減少
- 純資産の部・・・当期純利益等の増加
- 自己資本比率は75.0%、ROE（自己資本当期純利益率）は10.5%



自己資本比率：67.3%
ROE：12.6%



自己資本比率：75.0%
ROE：10.5%

2. 2022年3月期業績見通し

1) 2022年3月期の事業環境

- 引き続き新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞や減速が懸念される
- 感染症の収束に見通しが立たないなか、コロナ禍以前の経済・社会活動に戻ることは難しい
- 石油業界では精製能力の削減による設備の最適化が進展し、当社関連のメンテナンス市場の縮小方向
- 前期は当社が受注する定期修理工事が多い年であったが、当期は定期修理工事が少なくなると予想しているため、受注高・完成工事高が減少
- 日常保全工事・改造改修工事をはじめとするメンテナンス工事の受注拡大を目指す
- 一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラント、再生可能エネルギー関連の受注確保にも努める

2) 2022年3月期の業績見通し

- 前期は当社が受注する定期修理工事が多い年だが、当期は定期修理工事が少なくなると予想しているため、受注高・完成工事高および各利益が減少

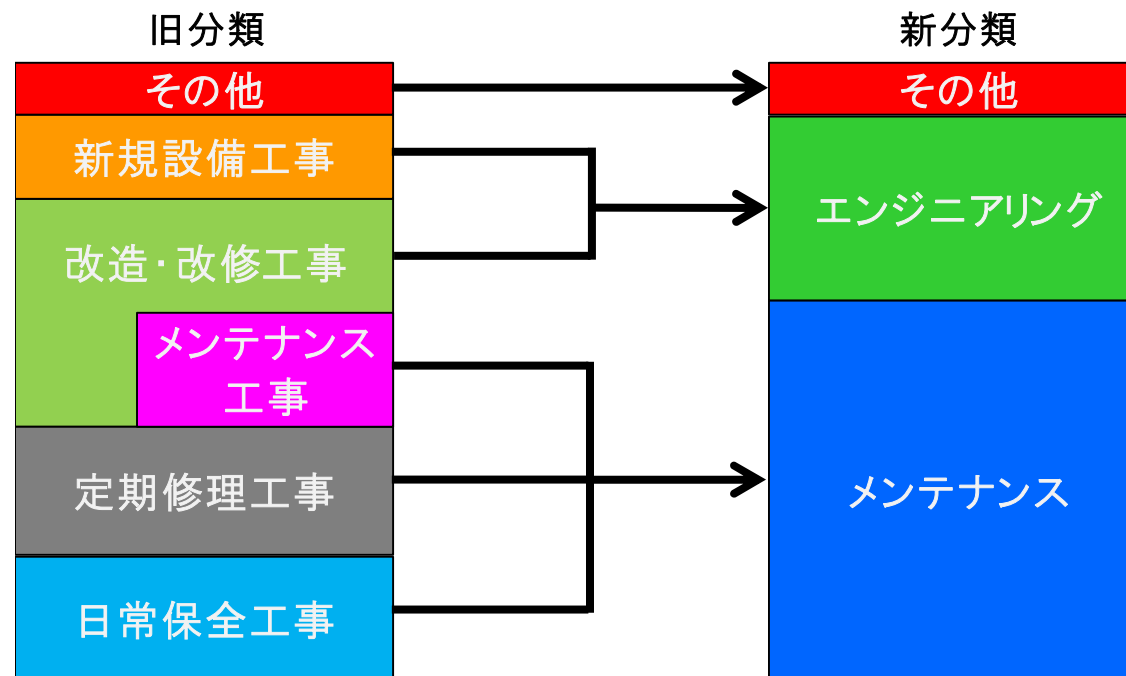
(単位：億円)

	中 間 期				通 期			
	2020.09 実績	2021.09 予想	増減	増減率	2021.03 実績	2022.03 予想	増減	増減率
受 注 高	728	655	-73	-10.0%	1,431	1,380	-51	-3.6%
完 成 工 事 高	633	685	+52	+8.2%	1,459	1,330	-129	-8.8%
完成工事総利益	77.5	77.0	-0.5	-0.6%	164.1	143.0	-21.1	-12.9%
(率)	12.2%	11.2%	-1.0%	-	11.3%	10.8%	-0.5%	-
営 業 利 益	48.3	44.5	-3.8	-7.9%	103.8	78.0	-25.8	-24.9%
(率)	7.6%	6.5%	-1.1%	-	7.1%	5.9%	-1.2%	-
経 常 利 益	49.6	45.5	-4.1	-8.3%	106.5	80.0	-26.5	-24.9%
(率)	7.8%	6.6%	-1.2%	-	7.3%	6.0%	-1.3%	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	32.2	29.5	-2.7	-8.4%	73.4	51.5	-21.9	-29.8%
(率)	5.1%	4.3%	-0.8%	-	5.0%	3.9%	-1.1%	-
1株当たり当期(中間)純利益	59.59円	54.46円	-5.13円	-8.6%	135.58円	95.08円	-40.50円	-29.9%
受 注 残 高	644	493	-151	-23.4%	522	574	+52	+10.0%

3) 受注高及び完成工事高

① 開示分類の変更

- 第2次中期経営計画がスタートする2022年3月期より、開示分類を変更
- 従来の開示分類は、分類が細かく、一般的な名称ではないため、外部からわかりやすい「メンテナンス」、「エンジニアリング」に変更
- 開示分類を、工事種類での5つの分類から、「メンテナンス」、「エンジニアリング」、「その他事業」の3つの分類に変更



3) 受注高及び完成工事高

② 新分類での予想

➤ 受注高、完成工事高ともに、前期よりメンテナンスが減少し、エンジニアリングが増加の予想

受注高

(単位：億円)

	2021.03	2022.03		増減	増減率
	通期	上期	通期		
メンテナンス	1,012	387	771	-241	-23.8%
エンジニアリング	419	268	609	+190	+45.3%
エンジニアリング業	1,431	655	1,380	-51	-3.6%

完成工事高

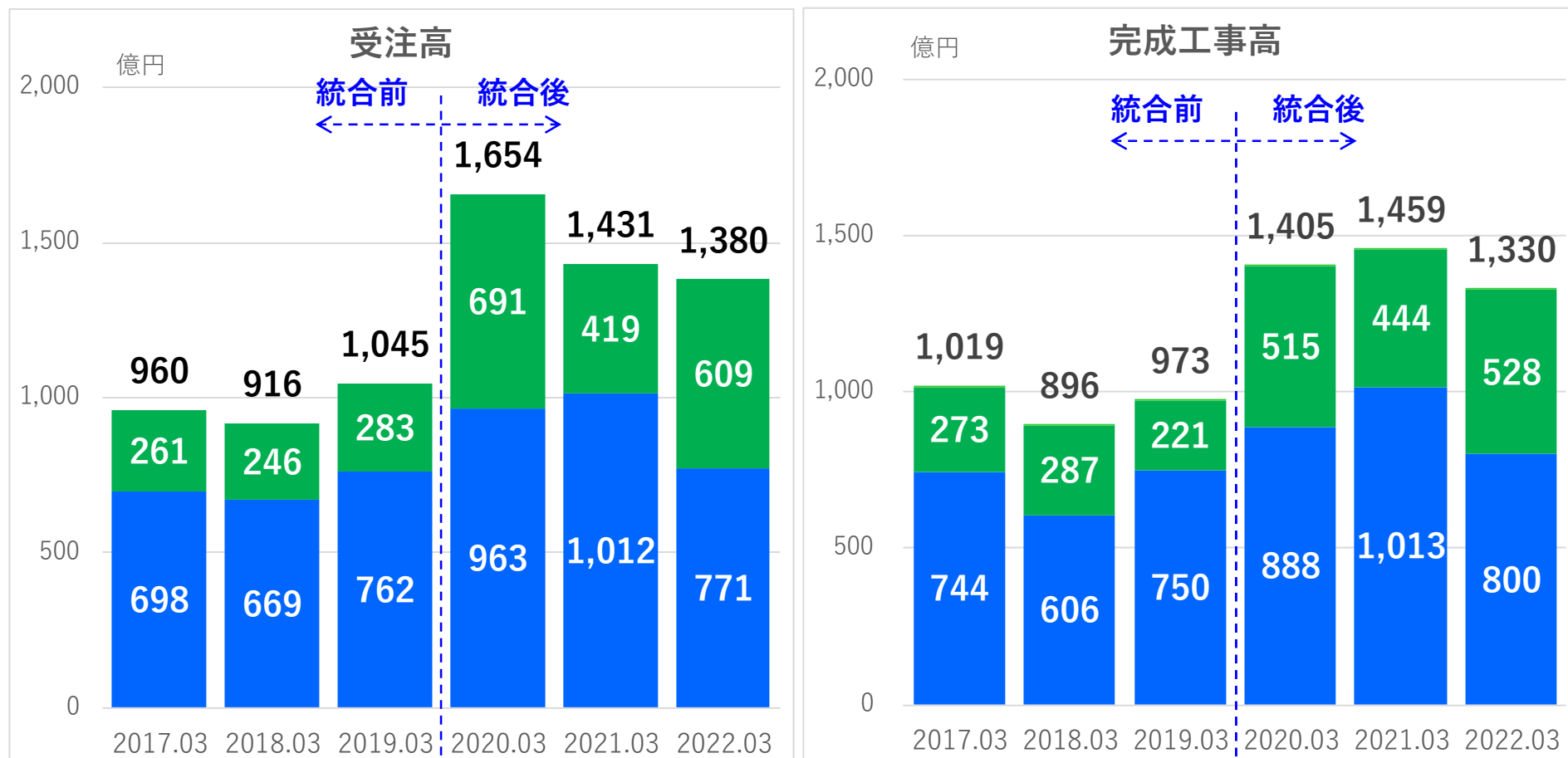
(単位：億円)

	2021.03	2022.03		増減	増減率
	通期	上期	通期		
メンテナンス	1,013	462	800	-213	-21.0%
エンジニアリング	444	222	528	+84	+18.9%
エンジニアリング業	1,458	684	1,328	-130	-8.9%
その他事業	1	1	2	+1	+100.0%
合 計	1,459	685	1,330	-129	-8.8%

3) 受注高及び完成工事高

③ 新分類での実績推移

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



注) 2022.03の数値は予想値となっております。

3. 配当

1) 2021年3月期配当予定および2022年3月期配当予想

配当に関する基本認識および配当方針

当社グループの事業は、石油、石油化学、一般化学等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると認識しております。

基本認識のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、40%以上の連結配当性向を目標といたします。

2021年3月期配当予定

● 期末配当 55円 （連結配当性向 40.6%）

2022年3月期配当予想

● 期末配当 47円 （連結配当性向 49.4%）

✓ 配当の安定性にも留意し、2021年3月期の期初の配当予想（47円）と同額

この資料には、2021年5月20日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社